



## 今月の内容



### オーストラリアでの貴重な経験を報告

8月1日から7日にかけて実施した、中学生海外派遣研修の帰国報告会を8月22日、中央公民館で行いました。中学生20人が、オーストラリア・クイーンズランド州でホームステイし、現地の中等学校で授業を受けたり、視察したりすることで、国際性豊かな人材を育成する本研修。参加した生徒らは自信に満ちた表情で、研修の感想を英語で発表しました。池田市長は「今回の経験を生かして、夢に向かって努力し、未来を切り開いてほしい」と激励しました。



### エネルギーの大切さを学ぶ

今年度から3年間かけて、市内小・中学校41校の屋根などを太陽光発電業者へ貸し出す事業の開始に合わせ8月29日、明道小学校で、現地説明会と環境エネルギーに関する出前授業が行われました。同校体育館の屋根に太陽光パネル約300㎡を設置。防災コンセントも設置され、災害時には非常用電源として活用されます。出前授業を受けた同校の4年生らは、教室のベランダで小型の太陽光パネルを空に向かってかざしながら、発電の仕組みを学んでいました。

#### 02 まちの話題

市立美術館特別展

#### 04

特集

自画像 キャンパスの中の画家たち  
都城島津伝承館特別展  
島津義弘と都城

#### 06 第14回ふれあいアンケート結果

#### 10 都城デジタル化推進宣言

#### 11 都城 Grow with Google

#### 12 住み慣れた地域で自分らしく暮らすための介護保険サービス

#### 14 人の風景

#### 16 沖水地区公民館・地区市民センターが完成！

#### 17 子どもらの頼れる先輩「ジュニア・リーダー」

#### 18 INFORMATION (市からのお知らせ)

#### 22 都城市環境まつり

#### 23 がん検診を受けよう！／今月のお便り

#### 24 みやこんじょ盛り上げ隊！／プレゼント

#### 25 国際交流員のひとりごと／美術館情報／学校へ行こう！

#### 26 図書館だより／歴史探訪／伝承館だより

#### 27 NPO通信／安全・安心情報／番組紹介／現住人口／編集後記

#### 28 自治公民館に加入しましょう！

※今月の「楽うまレシピ」は、休載します

### 取材で出会った笑顔



萩原もなさん(上長飯小6年・写真左から)、山下亜樹さん(同3年)、山下晴太郎さん(同1年)が、文部科学大臣杯小・中学校囲碁団体戦全国大会で6位に入賞し8月22日、岩崎副市長に活躍を報告しました。

### 今月の表紙

### 石山地区に伝わる伝統の相撲行事

高城町石山に伝わる石山花相撲が8月25日、観音池公園で開催されました。今年7歳を迎える男児の健やかな成長と、五穀豊穰を祈るために開催する石山花相撲。「ヨイヤサー」と、元気な声で土俵入りした豆力士らに、会場からは温かい声援が送られていました。





## キャッシュレス決済で インバウンド対策強化

ニッポンプラットフォーム  
NIPPON Platform(株)と本市が8月22日、事業連携協定を締結しました。市内の観光施設にキャッシュレス決済の可能な端末を導入し、インバウンド対策強化を図る本協定。池田市長は「海外から多くの旅行者に本市へ足を運んでもらうため、この機会を生かしたい」と期待を込めていました。



## 地域の環境美化に 爽やかな汗流す

いきいき大淀川クリーン大作戦が8月18日、神柱公園広場とその周辺の年見川流域で行われました。「小さな親切」運動都城支部が毎年実施する本取り組みに、市内の企業や高校・大学生、地域住民ら約900人が参加。草刈りやごみ拾いをしながら、爽やかな汗を流していました。



## 都城のまちなかに ブラジルの風が吹く

フェスタドブラジル  
「Festa do Brasil 都城」が9月7日、Mallmall 市内まちなか広場で開催されました。パーカッション演奏家谷口潤実さんの「サンバで都城を盛り上げたい」との思いから初開催。県内外からの来場者約5,000人は、サンバのステージやパレードなどに、ブラジルの風を感じていました。



## 健康と長寿を にこやかに祝う

老人の日・老人週間に先立ち、市内最高齢者と今年度100歳を迎える人に敬意を表し、健康と幸せを祈念する高齢者世帯訪問を9月5日、市内各地で行いました。池田市長は、市内最高齢で108歳の光神ナルさんと妹の今村レイさん(99歳)に花束などを贈呈し、2人の長寿を祝いました。



## 地域と学校が連携。 心を込めた雑巾作り

「ぞうきんを作ろうプロジェクト」が9月10日、五十市中学校で開催されました。地域のつながりの強化を図ろうと、地域住民と同校生徒が連携した本取り組み。生徒らは縫い方の手ほどきを受けながら、熱心に作成していました。完成した雑巾は、地区内の高齢者施設などに寄贈されます。



## 「生きる」を支える ゲートキーパーを養成

自殺予防週間に合わせて、ゲートキーパー養成講座を9月10日、市役所で開催しました。悩んでいる人に気付き、声を掛け、話を聞いて、必要な支援につなげ見守るゲートキーパー。本講座では14人が修了書を手にし、身近な家族や友人など、悩みを抱えている人たちを支えます。